

第5回集会 (SADI 北海道、1997)

ホスト：磯貝恵美子 (北医大)・磯貝 浩 (札幌医大)・
高橋健一 (道衛研)

会 場：北海道北広島市「レクの森 林間学園」、
札幌市「北方自然教育園」、
および札幌市「北海道開拓記念館」の順に日替わり

< 1 日目 > 6月26日 (木)

話題提供 中村準之助 (北医大)：ダニを原因とする 2、3 の皮膚病に
ついて

話 題

藤田博己 (大原研) 北海道における野兎病の発生記録
石倉康宏ら (富山県衛研) 日本に生息するマダニ類から *Coxiella
burnetii* の検出

吉家清貴 (鹿大・医) *Coxiella burnetii* の感染と一酸化窒素
(NO) の関連

森田千春 (酪農大・獣) ら アフリカ・ザンビアのヒト血清における紅
斑熱、発疹熱、Q熱に関する血清抗体調査

話題提供 平井克哉 (岐阜大・農)：Q熱の現状

話 題

Mulenga, A. ら (北大・獣) Vaccination against tick; A search
for vaccine candidates

杉本千尋 (北大・獣) ら 牛小型ピロプラズマ原虫 (*Theileria ser-
genti*) 原虫集団の動態解析

猪熊 壽 (山口大・農) ら 岡山県における *Rhipicephalus sanguineus*
の定着例と犬へのマダニ媒介性疾患伝播の
可能性

溝口二郎 (山形県衛研) ら マダニ刺症と疫学調査

竹田努 (北大・地球環境) ら ダニ脳炎ウイルスの流行巣の分布および
既存ワクチンの評価

高島郁夫 (北大・獣) ら ロシア、ハバロフスク市周辺におけるダ
ニ脳炎の疫学調査 (予報)

< 2 日目 > 6月27日 (金)

疫学ツアー

バスにて、馬追丘陵、支笏湖畔などの見学と野鼠やマダニの採集。夜は、札幌市内でジンギスカンの会食。

話 題

磯貝 浩 (札幌医大) ら ライム病ボレリアに対する血管内皮細胞の応答

宮本健司 (旭川医大) ライム病の感染機構について

磯貝恵美子 (北医大) ら ライム病の診断と問題点

大滝倫子 (九段坂病院) パプアニューギニアのダニ刺症ーライム病か

高田伸弘 (福井医大) ら 中国の温・暖帯地域にマダニを追う

石畝 史 (福井県衛研) ら 福井県の鳥寄生マダニのボレリア、その大陸との関係

増澤俊幸 (静岡県大・薬) ら 中国由来ライム病ボレリアの遺伝種同定

福長将仁 (福山大・薬) ら マダニの分類とボレリアの適応

話題提供 Oliver, Jr. J. H. (Georgia Southern Univ.) : Tick-Borne Emerging Diseases (中止)

話 題

秋山和夫ら (宮城県保環セ) 宮城県におけるツツガムシ病の発生動向

矢野泰弘 (福井医大) ら 北陸におけるツツガムシ病媒介種について

中嶋智子ら (京都府保環研) 京都府のツツガムシ相と恙虫病について

大滝倫子 (九段坂病院) ら 老人福祉施設における疥癬の現況

高橋守 (川越農) ら 神奈川県下で見られた野生のタヌキのカイセン症について

馬原文彦 (馬原医院) マダニの摘出法について

馬原文彦 (馬原医院) 最近の感染症の動向

角坂照貴 (愛知医大) 有毒フトゲツツガムシ幼虫唾液腺細胞にみられた小顆粒について

岩崎博道 (福井医大) ら ツツガムシ病の重症化における宿主要因

三角仁子 (女子栄養大) ら カワムラツツガムシの室内飼育下で見られた2, 3の知見

浦上弘 (新潟薬大) ら 北海道、野幌での *Orientia tsutsugamushi* の分離と分離株の性状

海保郁男 (千葉県衛研) ら 北海道、野幌地区のアカネズミより分離した *Orientia tsutsugamushi* の性状について

話題提供 多村憲（新潟薬大）：*Orientia tsutsugamushi* の特徴と今後の
課題

全体会議 組織委員会：インターネット上に、本セミナーのホームページ
を開設できる予定で、趣旨・組織・開催案内・歴代
開催記録など、最低限の情報を提供することとなっ
た。